

## 豚等へのCSF ワクチン接種状況

## 1 免疫付与状況確認検査の状況

- 実施時期 初回接種概ね4週間以上経過後、その後6ヵ月ごと
- 接種実績 115,687頭（R2.6末現在）
- 検体数等 1農場少なくとも30頭（原則として各豚舎から5頭以上）
- 検査結果

【令和2年4月1日～7月10日】

区分	対象施設	検査頭数	陽性頭数	免疫付与率
繁殖豚等	17	381	365	96%
肥育豚	16	440	310	70%
計	実21	821	675	82%

&lt;参考：第1回検査（R1.11～12）&gt;

区分	対象施設	検査頭数	陽性頭数	免疫付与率
繁殖豚等	16	233	209	90%
肥育豚	14	346	343	99%
計	実19	579	552	95%

- ・現時点における全体の免疫付与率については、初回一斉接種後より低下したものの、80%以上を維持。
- ・一方で、ワクチン接種豚から産まれた子豚において、母豚からの移行抗体の影響により免疫付与率の低下がみられるため、より適切なワクチン接種時期の検討が必要。

## 2 今後の対応

## (1) 追加接種の実施

- 免疫付与率が80%に満たない豚舎又は接種群は、国と協議の上、原則として当該豚舎又は接種群全頭に追加接種を実施。

## (2) 免疫付与率を高めるためのワクチン接種時期の検討

- 子豚の移行抗体確認調査を踏まえ、ワクチン接種豚から産まれた子豚へのより適切なワクチン接種時期を検討

<移行抗体確認調査>

- ・子豚の移行抗体保有状況を2週齢から6週齢時に調査
- ・母豚の免疫付与状況が子豚の移行抗体に与える影響について調査
- ・調査時期：令和2年4月～9月
- ・調査項目：抗体検査（エライザ検査、中和試験）

- ・子豚の移行抗体陽性率（エライザ検査、令和2年7月10日時点）

	2週齢	3週齢	4週齢	5週齢	6週齢
移行抗体陽性率	100%	85%	100%	94%	70%
(陽性頭数/検査頭数)	(5/5)	(34/40)	(10/10)	(15/16)	(28/40)

※ 子豚の移行抗体陽性率は40日齢を過ぎても高率である。

※ 今後、中和試験を実施し、抗体価を把握することにより移行抗体の消失時期を推定し、より適切な接種時期を検討。

【以下参考：ワクチン接種の経過】

〔令和元年度〕

10月25・26日 養豚農場等で初回一斉接種を実施（19施設39,888頭）

10月31日～ 養豚農場等の継続接種（※）

11月25日～12月19日 初回一斉接種後の免疫付与状況確認検査を実施  
（19施設579頭、免疫付与率95%）

〔令和2年度〕

4月13日～ 繁殖豚等への2回目接種を開始

4月27日～ 2回目の免疫付与状況確認検査及び仔豚の移行抗体確認調査を開始

※ 継続接種の概要

① 肥育豚

- ・接種時期 30～60日齢に接種（各農場において概ね1週間ごとに接種）
- ・接種頭数 毎月約10,000頭

② 繁殖豚等6ヵ月以上飼養する豚

- ・接種時期 初回接種6ヶ月後に接種、その後1年に1回（同一個体には最大4回）
- ・接種頭数 約4,700頭